



RETAN PG80Ⅲ

1 硬化剤の配合

塗料ベース **10:1** 硬化剤

- 1) 正確に計量し、十分攪拌してからお使いください。
- 2) 硬化剤が多いと乾燥が悪くなり、少ないと塗膜性能が十分に発揮できません。
- 3) 硬化剤は空気中の水分とも反応し硬化しますので、使用後はただちに密閉し、冷暗所に保管してください。

●硬化剤配合量の注意

硬化剤量 (%)	0	5	10	20
乾燥	○	○	○	×
フレ	×	△	○	○
付着	×	△	○	○

← 実用範囲 →

2 希釈塗料の可使用時間

16時間以内

8時間以内

5時間以内

液温10℃

液温20℃

液温30℃

硬化剤を混入したものは、可使用時間以内に使いきってください。ゲル化や増粘していない状態でも、すでに局所的な反応が進んでいますので、塗膜欠陥の原因となります。尚、原色によっては上記より若干短いものがあります。

3 乾燥

	10℃	20℃	30℃	60℃
指触乾燥	10分 (8分)	5分 (4分)	3分 (2分)	—
中研ぎ可能	40分 (35分)	20分	17分	10分
テープ可能	24時間 (20時間)	16時間 (12時間)	6時間 (5時間)	20分
※コンパウンド磨き可能	6時間 (5時間)	3時間	2時間	20分
屋外放置可能	20時間	12時間	8時間	20分
ガソリンOK	36時間	24時間	20時間	30分
完全硬化	72時間	48時間	40時間	50分

- 1) 塗装条件：531ホワイトを使用。膜厚70 μ m
- 2) 旧塗膜の種類、膜厚、塗色、湿度、風速、シンナーのタイプなどの諸条件で変わります。左記はあくまでも参考値です。
- 3) レタンPG80Ⅲを塗装後、キズ等の補修でラッカー系パテやブラサフを塗装する場合、あるいはライン引き、文字書き等にラッカー系上塗り塗料を塗装する場合には、左記「完全硬化」後に行ってください。チヂミ、フレ、ツヤ引けを起こすことがあります。
- 4) ファンタックは、完全硬化後にご使用ください。
※ボカシ際のコンパウンド磨き可能時間は、次の通りです。
10℃ 24時間 30℃ 6時間
20℃ 16時間 60℃ 40分
- 5) () は硬化剤速乾形

4 レタンPGシンナーの選び方

塗装区分	シンナーの種類	適用範囲(℃)							
		5	10	15	20	25	30	35	40
※ 部分 補修塗装	超遅乾形								
	遅乾形								
	標準形								
	速乾形								
	超速乾形								
※ 全塗装	超々遅乾形								
	超遅乾形								
	遅乾形								
	標準形								
	遅乾形								

- レタン PG シンナーをお使いください。
- 左記の表はあくまでも一例です。諸条件（特に風速）によって変動しますので、ご注意ください。
- ボカシ際のミストは、レタン PG ボカシレベリング剤（またはレタン PG ボカシ用シンナー）を用いてなじませてください。

	レタン PG ボカシレベリング剤	レタン PG ボカシ用シンナー
25℃以下	標準形	標準形
25℃以上	遅乾形	超遅乾形

- 特に蒸発速度を遅くしたい時は、レタン PG ノンプラをシンナーに対して10%以内添加してください。
※部分補修 ドアパーツ 1枚以内
※全塗装 片側全面以上

ホワイト・クリヤーの使い分け

品名	用途	特長	シンナー希釈率	注意
388-531 ホワイト	●ホワイトの標準仕上げ用	●磨き作業性がよい ●作業幅が広い	50～70%	
388-141 リッチホワイト	●ホワイトのトマリUP品	●トマリがよい ●ツヤ、肉持がよい	40～60%	
388-535 SUホワイト	●ホワイトの高級仕上げ用	●トマリがよい ●ツヤ、肉持がよい ●塗り肌がよい	50～70%	
388-533 ホワイト匠	●ホワイトの最高級仕上げ用	●ツヤ、肉持がよい ●塗り肌が新車と同レベルが得られる	30～40%	●ブース内塗装が原則 ●乾燥 40分/60℃
388-026 026クリヤー	●クリヤーの標準品 ●ソリッドカラーのニゴリ用クリヤー	●磨き作業性がよい ●原色との相溶性がよい	35～40%	●通常 25℃以下
388-027 027クリヤー-S				●通常 25℃以上
388-046 クオーツクリヤー-Z	●メタリックカラーの専用クリヤー (ニゴリ使用不可)	●クリヤー塗装時の戻りムラが起きにくい	0～10%	●通常 25℃以下
388-047 クオーツクリヤー-Z(S)				●通常 25℃以上
388-029 SUクリヤー	●メタリックカラーの高級仕上げ用クリヤー (ニゴリ使用不可)	●シマリがよい ●塗り肌がよい	5～20%	●通常 25℃以下
388-030 SUクリヤー-S				●通常 25℃以上
388-028 クリヤー技	●メタリックカラーの最高級仕上げ用クリヤー (ニゴリ使用不可)	●ツヤ、肉持がよい ●塗り肌が新車と同レベルが得られる	0～10%	●ブース内塗装が原則 ●乾燥 40分/60℃

レタンPGマルチ FCシリーズ

微調色用の原色で使用頻度の高い原色を12色準備しております。
入れ過ぎることがなく計量調色精度及び調色作業性がアップし、修正が容易になります。

コード	製品名	容量
381-361	レタンPGマルチ 361 オキサイドエローFC	0.3L
381-365	レタンPGマルチ 365 ファストブルーFC	
381-366	レタンPGマルチ 366 ファストグリーンFC	
381-400	レタンPGマルチ 400 ディープブラックFC	
381-531	レタンPGマルチ 531 ホワイトFC	
381-554	レタンPGマルチ 554 エクセルブラウンFC	
381-582	レタンPGマルチ 582 チンチングブラックFC	
381-584	レタンPGマルチ 584 インディアンレッドFC	
381-618	レタンPGマルチ 618 ディープグリーンFC	
381-620	レタンPGマルチ 620 ストロングレッドFC	
381-626	レタンPGマルチ 626 レディッシュバイオレットFC	
381-661	レタンPGマルチ 661 サイレントブルーFC	

硬化剤・添加剤・補助剤

製品コード	製品名	容量
294-805	レタンPGシンナー超遅乾形	16L
294-804	レタンPGシンナー速乾形	4L・16L
294-803	レタンPGシンナー標準形	
294-802	レタンPGシンナー遅乾形	
294-801	レタンPGシンナー超遅乾形	
294-806	レタンPGシンナー超々遅乾形	
295-801	レタンPGノンプラ	4L
294-831	レタンPGボカシ用シンナー標準形	4L・16L
294-830	レタンPGボカシ用シンナー超遅乾形	
388-022	レタンPGボカシレベリング剤標準形	4L
388-023	レタンPGボカシレベリング剤遅乾形	
388-024	レタンPGボカシレベリング剤超遅乾形	
388-006	レタンPG80硬化剤	0.9kg・3.6kg
15-388-901	レタンPG80硬化剤速乾形	
389-901	プラスチック用マルチ硬化剤	1L・4L
381-902	レタンPGエコスポイラー用マルチ硬化剤	0.9kg
327-001	レタンPG硬化促進剤	
12-302-020	レタンPG添加剤M2	0.2L
91-388-100	レタンPG80メタリックナイス	0.9kg
942-001	エコラッカーシンナー	16L
942-002	2石ラッカーシンナー	

標準塗装仕様

ソリッドカラーの全塗装

No.	工程	要領	作業のポイント	スプレー条件(参考)		
				吐出量(バルブ)	距離(cm)	運行速度
1	旧塗膜の足付け	P600～P800のペーパーまたは、SUウォッシュコンパウンド/スコッチブライトP1000～P1200で水研ぎする				
2	脱脂・清掃	シリコンオフで汚れを除去し、タッククロスでゴミを拭き取る				
3	上塗り	捨て塗り～色ぎめ (ソリッドエナメルベース) (硬化剤) (シンナー) 100 + 10 + 50～70 (A)	プラサフ部を払い塗りし、数回に分けてスケのないように塗る。 各回のフラッシュオフは、指触乾燥以上十分にとる。	3.0～4.0 回転	10～15	(普通) 0.8m/秒
		仕上げ塗り (A) (シンナー) 100 + 0～20	塗り肌を見ながら数回に分けて塗り込み仕上げする。	3.0～4.0 回転	10～15	普通
4	乾燥	強制乾燥の場合はセッティング約10分 吹付圧力: 20℃×3時間以上 または60℃×20分	ポデー温度キープ			
5	磨き仕上げ	スーパーコンパウンドシステム	ゴミ付着・肌アレ部はP1500～P2000のペーパーまたは砥石で水研ぎして、コンパウンドで磨き、肌・ツヤを整える。			

- 1) 赤系濃色の場合はクリヤー仕上げをしてください。
2) エナメルの色ぎめの後、クリヤーで仕上げ塗りをするとき、ツヤ、肉持感などの仕上がりは更に向上します。
但し色が変わる場合があるので、色合わせの時に確認してください。

- 注) ●スプレー条件
スプレーガン口径: 1.3%
吹付圧力: 0.25～0.35MPa(2.5～3.5kg/cm²)
スプレーパターン: 全開
- 再補修する場合は必ず強制乾燥(60℃×20分)を行ってから塗装してください。
●吐出量バルブの回転数はワイダー88タイプ。

メタリック・2コートパールの全塗装

No.	工程	要領	作業のポイント	スプレー条件(参考)		
				吐出量(バルブ)	距離(cm)	運行速度
1	旧塗膜の足付け	P600～P800のペーパーまたは、SUウォッシュコンパウンド/スコッチブライトP1000～P1200で水研ぎする				
2	脱脂・清掃	シリコンオフで汚れを除去し、タッククロスでゴミを拭き取る				
3	カラーベース	捨て塗り～色ぎめ (メタリックエナメルベース) (硬化剤) (シンナー) 100 + 10 + 100～120 (A)	(捨て塗り) うす塗りをしてハジキを確認する。ハジキが出た時は指触乾燥後2～3回霧吹きして直す。 (色ぎめ) スケのないように塗る。	2.5～3.0 回転	15～20	(普通) 0.8m/秒
		ムラ消し (A) (シンナー) 100 + 0～20	うすく追っかけ1～2回塗りしてムラ消しを行う。	2.5～3.0 回転	20～25	普通
4	セッティング	指触乾燥以上	約10分			
5	クリヤー	(SUクリヤーベース) (硬化剤) (シンナー) 100 + 10 + 5～20	メタリックエナメルの指触乾燥後、少しツヤが出るようにうすく捨て塗りを行い、十分に乾燥させてから数回塗り、肌を整える。各回のフラッシュオフは、指触乾燥以上十分にとる。	3.0～4.0 回転	10～15	普通
6	乾燥	強制乾燥の場合はセッティング約10分 吹付圧力: 20℃×3時間以上 または60℃×20分	ポデー温度キープ			
7	磨き仕上げ	スーパーコンパウンドシステム	ゴミ付着・肌アレ部はP1500～P2000のペーパーまたは砥石で水研ぎして、コンパウンドで磨き、肌・ツヤを整える。			

- 1) 25℃以上の場合は、SUクリヤー-Sをお使いください。

- 注) ●スプレー条件
スプレーガン口径: 1.3%
吹付圧力: 0.25～0.30MPa(2.5～3kg/cm²)
スプレーパターン: 全開
- 再補修する場合は必ず強制乾燥(60℃×20分)を行ってから塗装してください。
●吐出量バルブの回転数はワイダー88タイプ。

原色一覧

色 系	製 品 名	容 量		
		0.9kg	3.6kg	16kg
メタリック ベ ー ス	101 メタリック細目	○	○	○
	109 メタリック粗目	○	○	○
	111 メタリックホワイト	○	○	×
	122 メタリックメークホワイト	○	○	×
	123 メタリックニューメークホワイト	○	○	×
	124 メタリックブルーファイン	○	○	×
	137 シルキーメタリック	○	×	×
	202 サンメタリック	○	○	×
	210 サンメタリック極細目	○	○	○
	220 ニューサンメタリック	○	○	×
	221 サンメタリックブライト	○	○	×
	222 メタリックハイホワイト	○	○	×
	252 スターメタリック	○	○	×
	253 グランドメタリック	○	×	×
	834 メタリックフラッシュホワイト細目	○	○	×
	835 メタリックフラッシュホワイト	○	○	×
	836 メタリックフラッシュホワイト細目	○	○	×
	842 スターダストメタリック	○	○	×
	843 フラジメタリック	○	○	×
	850 メタリックゴールド	○	×	×
ホワイト	531 ホワイト	×	○	○
	533 ホワイト「匠」	×	×	○
	535 SJホワイト	×	×	○
	141 リッチホワイト	×	×	○
	400 テンプルブラック	○	○	○
ブラック	411 スペシャルブラック	○	○	×
	450 パワーブラック	○	○	×
	582 チンチングブラック	○	○	○
	649 スーパーブラック	○	○	×
	365 ファストブルー	○	○	○
ブルー	600 コバルトブルー	○	○	×
	614 スペシャルブルー	○	○	×
	621 オリエンタルブルー	○	○	×
	622 ナチュラルブルー	○	○	×
	638 ディープブルー	○	○	×
	640 ビビッドブルー	○	○	×
	652 パルシアンブルー	○	○	×
	661 サイレントブルー	○	○	×
	664 ネビュラブルー	○	×	×

色 系	製 品 名	容 量			
		0.9kg	3.6kg	16kg	
バイオレット	626 レディッシュバイオレット	○	○	○	
マルーン	613 エンリッチマルーン	○	×	×	
	635 ディープマルーン	○	○	×	
	480 ローザオレンジ	○	○	○	
	584 インディアンレッド	○	○	×	
	587 ベネチアンレッド	○	○	×	
	609 ローヤルレッド	○	○	×	
	610 ワインレッド	○	○	×	
	620 ストロングレッド	○	○	×	
	623 ファインレッド	○	○	×	
	625 リッチレッド	○	○	×	
レッド	634 ディープレッド	○	○	×	
	641 ピュアレッド	○	○	×	
	643 ブライトレッド	○	○	×	
	665 クリムズンレッド	○	×	×	
	680 ライブレッド	○	×	×	
	681 ライブオレンジ	○	×	×	
	ブラウン	554 エクセルブラウン	○	○	×
		361 オキサイドエロー	○	○	○
		481 レーフエロー	○	○	○
		540 メジウムエロー	×	○	○
585 ゴールドエロー		×	○	×	
581 レモンエロー		×	○	×	
630 ポタマックスエロー		○	×	×	
631 レパソングエロー		○	○	○	
645 ブライトエロー		○	×	×	
662 ハーシモンエロー		○	×	×	
エロー	663 ペールエロー	○	×	×	
	366 ファストグリーン	○	○	○	
	607 サニークリーン	○	×	×	
	618 ディープグリーン	○	○	×	
	グリーン	028 クリヤー「接」		16L	
		026 クリヤー			
		027 クリヤーS			
		046 クォーツクリヤーZ		4L	
		047 クォーツクリヤーZ(S)		16L	
		029 SUクリヤー			
030 SUクリヤーS					
015 ハールベース3		○	×	×	
012 ブロンズ			0.3L		

色 系	製 品 名	容 量		
		0.9kg	3.6kg	16kg
パーキッド	213 ファインレッド			
	217 ホワイト			
	218 ブラウン			
	242 スーパーファイン			
	244 ファインブルー			
	245 グリーン			
	246 ファイングリーン			
	247 ブライトホワイト			
	248 レッド			
	249 ニューレッド			
	260 ライトゴールド			
	261 ペールレッド			
	262 ペールブルー			
	263 ライラック			
	264 レッドブラウン			
	265 ファインゴールド			
	266 ブロンズレッド			
	270 ザファリアブライト			
	271 ホワイトクォーツ			
	272 スーパーグリーン			
	273 スーパーゴールド			
	276 ピュアホワイト中目			
	277 クリスタルホワイト			
	280 パシフィックブルー			
	281 カッパーレッド			
	282 シャイニーブラウン			
	283 スーパーシャイン			
	284 ライトブラウン			
	286 クリスタルブルー			
	287 クリスタルレッド			
288 クリスタルグリーン				
289 シャイニーレッド				
290 ソフィアブルー				
291 コスミックブルー				
292 マイクロシルバー				
293 ストライムグリーン				
クラフタイト	651 グリントベース	○	○	×
マイクロタッチ	653 ファインホワイト	○	×	×
板状酸化鉄	571 アイアンオキシサイド	○	×	×

ご使用上の注意事項

- 引火性の液体である。
 - 有機溶剤中毒の恐れがある。
 - 健康に有害な物質を含んでいる。
- 本品は、人体に有害なイソシアネート系の硬化剤を使用しています。この中には不純物として毒性の強い低分子イソシアネートが微量含まれています。従って、塗装にあたっては下記事項について厳重に注意ください。
- (1) スプレーミストの吸入による中毒
 - 軽症の場合…不快感・頭痛・セキ。
 - 中症の場合…喉頭炎と同様の症状。
 - 重症の場合…ぜんそく状の気管支ケイレンを伴う発作を起こす。
 - (2) 皮膚に触れることによる炎症。
 - 塗料やスプレーミストが直接皮膚に触れると、赤くはれるなどの炎症を起こすことがあります。
 - (3) 一度中毒すると再発しやすい。
 - 一度中毒したり炎症を起こしたりすると敏感になり再発しやすくなる傾向がありますから注意してください。気管支炎になりやすいなど呼吸器系が敏感な人や、既往症のある人、皮膚カブレを起こしやすい人、アレルギー体質の人には、作業には従事させないでください。
 - また、本品には、第2種有機溶剤を使用しています。一般に第2種有機溶剤を使用した塗料に共通な危険性と有害物があり、作業環境と取扱方法が義務づけられています。安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に右記の事項を守ってください。

設備上の注意事項

- 本品は、第2種有機溶剤を使用していますから「有機溶剤中毒予防規則」や「消防法」などによって、作業場の環境などを下記のようにととのえることが義務づけられています。
- (1) 塗装プースの制御風速は有機溶剤中毒予防規則に従ってください。
 - (2) プースの排気孔から外部にスプレーミストがもれないようにするために、水洗もしくは布などによるミストの除去装置がつけなければならないことが必要です。
 - 本品などのポリウレタン樹脂塗料では、塗装場周辺へのイソシアネートの飛散を防止するために上記のことが重要です。イソシアネートは水分にあうとただちに反応して毒性が消えますから、人家の密集地ではできるだけ水洗プースを使うようにしてください。ドライプースの場合は、排気をさらにウォーターシャワーに通せば安全です。
 - (3) 塗装作業中は作業場内の換気を十分行い、大気中の有機溶剤濃度が許容濃度以下になるようにしてください。
 - (4) 強制乾燥を行う場合は、溶剤の蒸気濃度が爆発限界(溶剤にもよるが容量比で1.1～7%)以下に保たれるように管理してください。
 - ジェットヒーターなどの直下加熱方式は、引火の危険が非常に大きいので、使わないでください。
 - その他、照明器具、モーター、スイッチなど、スパークの飛ぶおそれのある器具は、必ず防爆形を使ってください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8903 FAX(03)5711-8933
 北海道販売部 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
 東北販売部 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
 北関東超販売部 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
 東京販売部 TEL(03)5711-8903 FAX(03)5711-8933
 中部販売部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
 大阪販売部 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
 中国販売部 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
 四国販売部 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
 九州販売部 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

製品取扱上の注意事項(安全衛生他)

下記の注意事項を守ってください。
 詳細な内容については化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・入り巻きタートル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対応

- 目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

ご用命は